



親子から高齢者までみんなで
文化芸術を楽しみましょう！
アートを観賞

小田原文化芸術協会の情報…

<https://www.artnow.jp/>

<https://www.facebook.com/odawara.art>

ふうきょう 風興

神の宿る木の受容への変化の過程で、長い年月の中で時間が作り上げる木の変化の妙が重視され、古色とか劣化の美といわれる独特の世界。「瓶に花をさす事にしへよりあるとはきく侍れど、それはうつくしき花をのみ賞して、草木の風興をもわきまへず、只さし生たる計なり」とあり、広く芸術論用語として用いられ、とくに蕉門の俳人はこの語を愛用しております。

『芭蕉翁行状記』1965

「月花の庭かわるがわるあらためて、風興日々にあまる」



神奈川文化活動団体事業補助金対象事業

後援：神奈川県、小田原市、神静民報社、タウンニュース社、ポスト広告社

表現手法の掛軸、屏風、衣箱、撞木…
日本画・洋画・金属工芸・書・陶芸・木彫・友禅・写真
石彫・グラフィック・カリグラフィ・水彩画・オブジェ

和文文化室礼展

2022年

8月10日(水)～14日(日)

小田原三の丸ホール展示室

09:00-21:30

床の間から発生されたいけばな様式の生花

伝承されている和文文化がこの新しい建築空間にいかにつらえるか！

今日的な和空間を演出・創造することが、
今までの座敷飾りに替わる「しつらい」と考えます。

新しい文化の形の先駆けです！



受付にお問い合わせください。

<出品者> 金属・勝孝、木彫・安藤美茂、オブジェ・杉崎宗雲、染色・宮部礼子、SHIZUKA
スタンドグラス・山口真理子、カリグラフィー・井上美代子、書・中原茅秋、日本画・小玉文夫、
水中写真・水之京子、現代アート・吉川信雄、キューブ・宮崎桂一、漆・齋藤卯乃、陶・西 静恵、
陶と書・廣瀬祐見、陶と日本画・波多野安希・波多野杜邦、石彫・田中康二郎、陶・浅倉貴子、
友禅・奥津和子、書・金竹秋苑、日本画・井出文洋、書・永井香峰、
<生花> 中村宗久、西井秀喜、石川宗仁、遠藤理智、渋谷理小夜、鶴澤宗佳、杉崎宗雲

文化振興としての“文化を喰う会”を再開いたします。

登録された方が3-4か月に1度集まり、ゲストを囲んで、文化芸術について語り合います。

そして、熟して登録者による文化芸術の発表会と考えます。

申込の希望者はメール 0663@omuro-net.com に、その趣を記載し、お送りください。

<会費は、その都度の飲み物・資料代とします。>